

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		老人クラブ連合会運営活動助成事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康	
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加				所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳	
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進				所属班	高齢者保険班	(内線)	2114	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	高齢者在宅福祉事業 合志市健康福祉補助金等交付要綱		成果優先度評価結果	11
		1	3	1	4	10435				コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	単位老人クラブを統括し、情報の交換、総合交流等を実施し、単位老人クラブ会長研修やグランドゴルフ大会を開催するとともに月1回の定例会を実施している。単位老人クラブの育成強化及び相互の連絡と老人クラブの発展と老人福祉を増進することを目的とする。合併により、旧町単位で支部と合志市老人クラブ連合会を組織した。 旧町の老人クラブの活動に差異があり、当面は支部として活動をおこなうことになった。会費や参加費も活動により負担の有無にも差があるため今後調整について、老人クラブ会員と協議が必要になる。 老人連合会も今まで慣れた運営方法があり、統一するにはある程度の期間が必要である。 役員のなり手がなくて、老人クラブがなくなってしまう傾向となっている。
【業務の流れ】	事業計画書、収支予算書、交付申請書の受付、補助金決定、支払、事業実績書・収支決算書の審査
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	各種スポーツ大会においても旧町にやり方があり、どちらの方法を取り入れても参加する会員に混乱が生じる。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)			
単位老人クラブの総合交流、老人クラブ会長研修、グランドゴルフ大会の開催、老人クラブ連合会の運営と活動(シルバーヘルパー養成事業、友愛ヘルプ訪問事業)に対する補助。			
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
⇒ ア 交流会開催回数	回	⇒ イ 支援活動総数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⇒ ア 老人クラブ数	
老人クラブ		⇒ イ	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
老人クラブの運営活動を支援する。		⇒ ア 計画どおりできた割合	%
⇒ イ			
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	11	10	10	10	10	10	10
	イ	回	28	25	14	23	14	14	14
⑤ 対象指標	ア	箇所	55	48	55	46	55	55	55
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	541	541	541	541	541	541
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,055	1,795	1,795	1,795	1,795	1,795
	(A) 事業費計		千円	2,596	2,336	2,336	2,336	2,336	2,336
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
人件費	正規職員従事人数	人	5	3	5	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	27	90	27	46	46	46
	(B)人件費計	千円	107	360	107	183	183	183	183
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,703	2,696	2,443	2,519	2,519	2,519	2,519

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	老人クラブ連合会運営活動助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 単位老人クラブの育成強化と相互の連絡、高齢者の福祉の増進を向上するために、継続して行う必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 単位老人クラブをまとめる組織は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 高齢者人口が今後増えるため会員数は増加することが見込まれことから、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 支部が合併し運営の統一ができれば、削減の余地はある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市老人クラブ連合会及び支部活動に対する補助金であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 合併により、旧町の老人クラブ連合会が支部として活動しており、支部間で活動内容に違いがあるところを、調整し統一していく必要がある。 老人クラブ連合会の係わりは、高齢者支援課だけでなく他にも関係している課があり、老人クラブ連合会や支部活動の活性化を図るには関係課との連携が必要である。																						